

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）2018 年度

公表：平成 31 年 1 月 15 日

事業所名：聴覚・ろう重複センターつくしっこ

保護者等数（児童数）：17 名 回収数：7 名 割合：41%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	29%	71%	0%	・利用者の人数に対してスペースが足りていないと感じる ・十分に走り回れるスペースがあると良い	・利用者の安全確保に一層注意していく
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	43%	57%	0%	・特に不満はない	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	0%	100%	0%	・把握していない	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	29%	71%	0%	・分からない	
適切な 支援の 提供	5	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	71%	29%	0%	・すぐに対応してくれている	
	6	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの	71%	29%	0%		

		支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか					
	7	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	57%	43%	0%		
	8	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	71%	29%	0%	・長期休みの活動は楽しそうである	
	9	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	29%	0%	71%		
保護者への説明等	10	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	71%	29%	0%		
	11	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	86%	14%	0%		
	12	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	0%	43%	57%	・説明があったかどうか記憶があいまい ・必要としていない	・必要に応じて行う
	13	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	86%	14%	0%		
	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	43%	43%	14%		
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	29%	0%	71%		

	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	57%	43%	0%		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	43%	43%	14%		
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	0%	43%	57%	・見ていない	・ブログ等の紹介を行う
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	71%	29%	0%		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	29%	57%	14%	・マニュアルを見せて欲しい	・マニュアルの整備をするともに保護者に周知していく
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	0%	71%	29%	・把握していない	・定期的に防災訓練を実施していることを伝える
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	86%	14%	0%	・とても楽しみにしている。 休みだと不満を言う。	・より一層子どもたちが安心して過ごせる場所であるように努める
	23	事業所の支援に満足しているか	71%	29%	0%	・安心して通える場所である ・出来る事を伸ばして欲しい。一緒に取り組んで道具の使い方などを学んでほしい	・必要に応じて対応していく

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

児童発達支援事業所における自己評価結果（公表）

公表：平成31年1月15日

事業所名：聴覚・ろう重複センター つくしっこ

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0%	100%		・主たる事業所と従たる事業所に分かれているため、狭く感じてしまうことがある。それぞれの事業所をうまく活用する。
	2	職員の配置数は適切である	40%	60%	・マンツーマンが必要な利用者にはマンツーマンで配置	・マンツーマン支援が中心となるため、人員配置が行き渡らない時がある。適切な配置を心がける
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	60%	40%	・送迎表など顔写真を活用している	・視覚情報を優先に活用していく
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	60%	40%		
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	40%	60%		
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	40%	60%		

	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	0%	100%		・今年度より公開をし始めた
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	20%	80%		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	80%	20%	・キャリアに応じた研修を実施している	
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	80%	20%		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	100%	0%		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	100%	0%		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	60%	40%		

	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%		
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	100%	0%		
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	80%	20%		
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	40%	60%		
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	80%	20%		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%		
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	80%	20%		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	20%	80%		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	0%	100%		・医療的ケアを必要とする利用者が在籍していない

24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	0%	100%		・医療的ケアを必要とする利用者が在籍していない
25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				・当事業所では実施していない
26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている				・当事業所では実施していない
27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	0%	100%		
28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		
29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	80%	20%		
30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	80%	20%		
31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	0%	100%		

保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	100%	0%		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	60%	40%		
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	80%	20%		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	80%	20%		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	100%	0%		
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	20%	80%		

非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	40%	60%	・	未整備のマニュアルがある。今後整備する。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	80%	20%		
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	60%	40%		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	40%	60%		
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	80%	20%		
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	60%	40%		
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0%	100%		・身体拘束は実施していない

保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）2018年度

公表：平成31年1月15日

事業所名：聴覚・ろう重複センターつくしっこ

保護者等数（児童数）：59名 回収数：16名 割合：27%

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	44%	50%	6%	・利用者が増えているのに対し、十分な活動スペースが確保されていない ・活動中の様子を見たことがないため、わからない	・利用者の安全確保に一層注意していく
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	50%	50%	0%	・外出や送迎の際に送迎車に子どもだけ残すことがないようにしてほしい ・利用者数に対し、スタッフが少なく感じる時がある	・適切な人員配置に心がける ・利用者から目を離さないようにする
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	31%	69%	0%	・事業所自体をしっかりと見ていないのでわからない	
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されているか	100%	0%	0%		
	5	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	100%	0%	0%		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	38%	38%	24%	・公園で地域の子どもたちと交流する機会はありますか	・公園遊びなどで地域の子どもたちと積極的に関わられるようにする
保護者	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	88%	6%	6%		

	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	81%	13%	6%	・メールで状況を報告して頂いてくれている	・保護者との連絡を怠らないようにする。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	69%	31%	0%		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	19%	19%	62%	・保護者同士の連携があるのかわからない	・要望に応じて保護者会を開く
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	63%	37%	0%	・苦情があったときはすぐに対応してくれる	・苦情発生時には速やかに報告するように心がける
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	69%	31%	0%	・利用時けがをしたときに、誰かにされたのか報告がない（個人情報の観点で難しい？）	・的確な報告をするように心がける
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	56%	31%	13%	・ブログ等の存在を知らなかった	
	14	個人情報に十分注意しているか	75%	25%	0%		
非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	44%	31%	25%	・説明してもらったかどうかあいまい ・マニュアルがあることを初めて知った	・マニュアルの整備をするとともに、保護者に周知・説明をしている
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	31%	63%	6%	・訓練していることを知らない	・防災訓練を定期的に行っていることを説明する
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	100%	0%	0%	・嫌ということはない ・行くのをとても楽しみにしている	・より一層子どもたちが安心して過ごせる場所であるように努める

18	事業所の支援に満足しているか	88%	12%	0%	<ul style="list-style-type: none"> ・長期休暇時に利用時間が変わることが困る ・単一障害と重複障害の子どもを分けて活動することは出来ないか 	<ul style="list-style-type: none"> ・必要に応じて対応していく
----	----------------	-----	-----	----	--	---

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果（公表）」は、保護者等の皆様に「保護者等向け放課後等デイサービス評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表日：平成31年1月15日

事業所名：聴覚・ろう重複センター つくしっこ

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点など	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係 で適切であるか	0%	20%	80%		・主たる事業所と従たる事業所に分か れている。それぞれにあった活動を考慮 する。
	2	職員の配置数は適切であるか	20%	60%	20%	・マンツーマンが必要な利用者に対し てはそのようにする	・適切な人員配置が出来るようにする
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化 の配慮が適切になされているか	40%	20%	40%		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCA サイクル （目標設定と振り返り）に、広く職員が参 画しているか	40%	0%	60%		
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりア ンケート調査を実施して保護者等の意向等 を把握し、業務改善につなげているか	40%	20%	40%		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホ ームページ等で公開しているか	0%	40%	60%		・今年度より実施する
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を 業務改善につなげているか	0%	40%	60%		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機 会を確保しているか	60%	40%	0%	・キャリアに応じた研修を実施してい る	

適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	40%	60%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	40%	40%	20%		
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	80%	20%	0%		
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	60%	20%	20%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	100%	0%	0%		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	80%	20%	0%	・午前中はミーティングを実施している	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	40%	40%	20%		・支援終了時に職員が揃うことがなかなかない。改善する。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	100%	0%	0%		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	80%	20%	0%			

	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	60%	40%	0%	
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	100%	0%	0%	
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	80%	20%	0%	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	0%	60%	40%	・医療的ケアが必要な利用者が在籍していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	20%	40%	40%	
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	40%	40%	20%	
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	0%	20%	80%	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	20%	20%	60%	・近所の公園などで交流はある
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	60%	20%	20%	

	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	80%	20%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0%	40%	60%		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	80%	20%	0%		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	80%	20%	0%		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	0%	0%	100%		
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	100%	0%	0%		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	100%	0%	0%		
	35	個人情報に十分注意しているか	100%	0%	0%		
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	80%	20%	0%		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	20%	0%	80%		

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	20%	20%	60%	・未整備のマニュアルがある。改善する。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	60%	20%	20%	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	60%	20%	20%	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	60%	0%	20%	・身体拘束は実施しない
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	40%	20%	40%	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	80%	20%	0%	